

発 言 通 告 書 要 旨 (1 枚目 / 全 3 枚)

		氏 名	稲垣 清也	
発言番号		発言事項及び発言要旨	備 考	
1	(1)	<p>「人」への積極的な投資戦略について 子育て支援の更なる充実について</p> <p>これまでも加賀市は県内トップクラスの子育て支援を行ってきている。令和6年度当初予算において、園児を育てる世帯には「保育料完全無償化事業」、小・中学生の世帯には「学用品費等の保護者負担軽減事業」、高校生等の世帯には「子ども向け交通無償化事業」と3つの新規事業を計上し、子育て支援のさらなる充実、保護者の負担軽減を図ろうとしている。これら3つの新規事業の事業内容及び子育て施策について、他市と比較し加賀市が誇る部分を分かりやすく述べよ。</p>		
	(2)	<p>教育ビジョンの加速化事業について</p> <p>学校教育ビジョン推進事業として、「学びを変えるプロジェクト」、「誰一人取り残さないプロジェクト」、「未来は自分で創るプロジェクト」、「地域と一緒にプロジェクト」の4つのプロジェクトを柱に「BE THE PLAYER」のスローガンの下、昨年4月より積極的に教育の改革を進めてきている。初年度としての本年度、教育長が感じている手応えや実績、さらにプロジェクト中間年を迎える来年度に加速化させる部分と目標について問う。</p>		
2	(1)	<p>「地域」への積極的な投資戦略について 乗合タクシー高度化（AIオンデマンド）事業について</p> <p>現在の乗合タクシー事業については利用者数を見ても、決して大きな成果が上がっているとは言えない状況であると考え。来年度にAIオンデマンドの仕組みを導入することにより現在の乗合タクシーと比較してどのように利便性が向上するのか。</p> <p>また、「小学生・中学生・高校生の地域活動・通塾にかかる利用は無料」とのことだが、利用可能な時間帯や無料となる範囲などの運用方法はどのように考えているのか。</p>		
	(2)	<p>加賀市版ライドシェア事業について</p> <p>加賀市版ライドシェアの事業内容及び、「加賀市版」というからには他自治体等の自家用有償旅客運送と比較し、異なる点、利便性が高い点等があれば示せ。</p> <p>また、現時点でのドライバーの確保の状況、今後の見込みについても問う。</p>		

発 言 通 告 書 要 旨 (2枚目/全3枚)

氏 名 稲垣 清也

発言番号			発言事項及び発言要旨	備 考
3	(1)		<p>「産業」への積極的な投資戦略について 片山津 I C 産業団地拡張整備及び誘致事業について（持込資料 N o. 1）</p> <p>片山津 I C 産業団地が完売し、拡張第 1 工区として約 9 ヘクタール第 2 工区として約 23 ヘクタールの合計約 32 ヘクタールもの土地を整備するとのことである。令和 6 年度の整備計画として、農振除外が完了したエリアから造成工事に着手したいというスピーディーな計画でもあると感じるが、誘致企業の見通しは立っているのか。</p> <p>また、このエリアの産業団地整備については地元からの要望書も頂いて進めていると思うが、推進するに当たっての課題等があれば述べよ。</p>	
	(2)		<p>次世代型産業パーク整備及び誘致事業について</p> <p>令和 5 年度は次世代型産業パーク事業として集積地の考え方や各種協議、適地の調査を行ってきたかと思う。その結果として次世代型産業パークとはどのような産業集積地を目指すのか。</p> <p>また、適地調査の結果を問う。</p>	
4	(1)		<p>柴山潟周辺整備事業について 柴山潟湖畔遊歩道災害復旧工事について（持込資料 N o. 2）</p> <p>本年 1 月補正予算に計上された令和 6 年能登半島地震による柴山潟湖畔遊歩道 災害復旧事業について、早期の観光復興を図るとの話であったが復旧状況について問う。</p> <p>また、令和 5 年度の遊歩道整備区間（片山津温泉加賀観光ホテルから大江戸温泉物語片山津温泉ながやままで）650 メートルの整備については計画通りなのか。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (3枚目/全3枚)

		氏 名	稲垣 清也
発言番号		発言事項及び発言要旨	備 考
	(2)	<p>柴山潟周辺土地整備事業について（持込資料No. 3～6）</p> <p>手塚山公園前から加賀市浄化センター跡地の整備事業については、眺望景観の保全を第一に防災機能を有した公園を整備するとある。令和6年度事業に計上されている官民連携可能性調査、柴山潟湖畔公園施設再配置検討業務の内容について問う。</p> <p>また、平成29年3月に加賀商工会議所より柴山潟周辺湖畔整備についての提案書を頂いていると思う。その提案では本エリアについては加賀市のゲートウェイ整備として自然眺望と一体となった「潟の駅」を整備する提案であった。さらに遊歩道周回上にいくつかの眺望ポイントも整備してはとの内容であったが、本提案に対する見解を問う。</p>	
5		<p>管路耐震化事業について</p> <p>令和6年能登半島地震においては能登地区において電気、水道といったライフラインが壊滅的な被害を受け、加賀市内においても断水の被害が発生した。当初予算において管路耐震化事業を増額し7億円が計上されているが、水道の管路耐震化率など耐震化の現状と今後の取組について問う。</p> <p>また、耐震化については大きな予算が伴うため計画的に進める必要があるが、施工の優先順位の考え方を尋ねる。併せて、下水道管路の耐震化の現状と取組方針についても問う。</p>	
6		<p>消防指令システム整備事業について</p> <p>現行システムの老朽化による更新とのことであるが、システムの更新には大きな費用が発生する。前回の更新からどのくらい経過したのか、新システムにて強化、効率化される点を問う。併せて、消防の広域化、消防指令システムの共同運用などの考えについても問う。</p>	
7		<p>市道の災害復旧工事について</p> <p>本年1月補正予算において令和6年能登半島地震により損傷した市道の災害復旧工事費が計上され、既に復旧された道路もあれば仮舗装の状態の道路もある。特に干拓町の市道C第461号線などは道路が隆起したままである。令和5年度3月補正予算にて施設等災害復旧事業は計上されているが、市道についての本復旧工事の状況及びスケジュールについて問う。</p>	